

新しい文化芸術活動の拠点 市民会館の建設地とあり方 とことん考えたい！



【現在地案でのイメージ図】

呼びかけます

市民版・市民会館公聴会

市民の大きな関心事、市民会館建設問題について、市議会・会派「市民ネット」として「市民版・市民会館公聴会」を計画しました。長野市の市民会館建設担当者を招き、また「市民ネット」としての考えも提案させていただき、賛否両論、市民の皆さんの意見を伺いたいと思います。ご参加ください。



【権堂・東街区案でのイメージ図】

■10月5日(火)

午後6時～8時

■県労働会館5F

長野市県町・ホテル国際21の北側
(裏面の地図参照) ☎235-3216

■内容

- ◎市民会館建設地方針案について
長野市・市民会館建設担当者
- ◎市民ネットの考え
市議会議員より
- ◎自由討論
…気軽にご参加ください。

長野市は、老朽化し使いづらい長野市民会館をより質の高い文化芸術拠点として建て替えるとし、その建設地を「権堂・東街区」とする方針案を市民に示しました。

そして今日、9月定例会市議会での議論等を踏まえ、再開発事業による「権堂・東街区案」と「現在地案」をより広く比較検討し、10月末までに決定するとしています。市民意見の募集は10月15日まで延長され、市民説明会も重ねて開催する方針は、私たち市民の声が市政に反映されるという意味で、歓迎したいと思います。

しかしながら、市民の間では「そもそもイトーヨーカドーが再開発事業に参加できないとした時点で、権堂での計画はご破算なのではないか」「何故、行政はこんなに権堂に固執するのか」「効果が不透明な繁華街に建設するよりも、現在地で建設すればよいではないか」「大型店のための文化施設という印象。これでは本末転倒ではないか」との疑問や批判が渦巻いているのではないのでしょうか。再開発事業では125億円もの巨額の資金を投入する大事業。市民が集える文化芸術活動の拠点としての創造性・発展性を見極め、投資効果についても市民が納得できるものでなければならないと思います。

【呼びかけ】

長野市議会「市民ネット」

市議会議員 池田清／布目裕喜雄

【連絡先】長野市役所内控室 ☎226-4911内線3937

★事業費(市民会館+庁舎+駐車場)を比較すると…

	東街区案	現在地併設案①	現在地併設案②	合築案③
市民会館	87億	69億	69億	69億
第一庁舎	50億	50億	50億	50億 +5.5億(合築分)
駐車場	200台/3.6億	751台/6.6億	599台/3.3億	788台/5.0億
仮庁舎	—	—	11億	—
総事業費	140.6億	125.6億	133.3億	129.5億
関連事業費	10.4億	—	—	—

* 関連事業費は公表された概算金額。周辺道路整備の経費は未発表。

* 現在地での併設案①、併設案②、合築案③は下の図表を参照。



1 関連事業の概算事業費

現時点で想定される事業及び概算事業費です。規模や機能、事業費などは今後行う基本設計等で決定していきます。

(社会資本整備総合交付金を活用) (単位:億円)

事業名	事業概要	事業費 総額	内訳		備考
			国費	市費	
しなのき連絡デッキ	W=4.0m,L=12m	1.2	0.5	0.7	
しなのき改修		1.0	0.4	0.6	多目的ホール、音楽室等の改修
市民会館用駐車場	N=200台	3.6	1.4	2.2	取得の場合(買値の場合3,600万円/年)
市民会館用駐輪場	N=200台	0.8	0.3	0.5	駅関連50台込
小計		6.6	2.6	4.0	
東西連絡デッキ	W=5.0m,L=40m、EV	6.0	2.4	3.6	屋根、グレードアップ分含む
にぎわい交流施設	A=2000㎡	1.4	0.6	0.8	照明・内装改修 パナソニック設置等
小計		7.4	3.0	4.4	
計		14.0	5.6	8.4	

※ 事業費については、下記条件から推定概算したもので、正確には今後基本設計をしないと算出できない
 ※ 補助率は、いずれも40%とした。社会資本整備総合交付金(交通・交通拠点の一体的整備事業)の適用を見込む
 ※ デッキについては、長野駅広域エリアのデッキ(約200㎡)を参考に、グレードアップ、EVを加算した。
 ※ 駐輪場、駐輪場については、再開発事業の中で仮留床取得費として算出
 ※ 間接交流施設については、もんふら4Fの改修費を参考に算出
 ※ しなのきの改修については、多目的ホール、音楽室等の改修を想定

H23国の重点施策「駅を中心に都市基盤と関連公益施設の一体的整備事業」を活用